

STAGE 04, "健やかな自滅プラン"1

話者	台詞 / ト書き
	■ ???
???	ヴァルナカウンターは安定した。 レイヤードの秩序を乱す者は もう、いない……。
???	……はずだったのに。 世界は、未だに病んでいる。
???	ステージは、健全じゃない。 世界を正す、『表』を愛せる、 もっと強い人を探さなきゃ。
???	その人に鍵を渡すときまでは、 私を手伝ってね。 私の味方は、貴方だけなんだから。
	■ ライブハウス
キョータロー	おーす、来てるか 【ユーザー名】？
イオン	来ています、キョータロー。 お先にトレーニングを はじめていますよー。
キョータロー	よー、イオン。 【ユーザー名】も、 大丈夫なのかよ？
キョータロー	この前いきなり気絶したとこだろ。 あのあと、俺らがどれだけ お前を心配したか……
テルミ	友達想いなんだね。 それとも、他に友達いないとか？
キョータロー	……！？ な、なんでお前がここに！
テルミ	やっほ。 『遊びに来てください』って 連絡来たから、顔出してみたよ。
イオン	ユーザーさんも、ぜひに、 とのことでしたので。 ぜひに、お誘いしてみました。
キョータロー	イオンの暴走ならともかく、 お前まで……人が良すぎるぞ、 【ユーザー名】。
テルミ	うん、悪くない場所だね。 防音もできてるし、練習場所には ちょうど良さそう。
キョータロー	アクトマキアまでにどうこう 言ってたじゃねーか。 ここで慣れあっていいのかよ？
テルミ	ただ遊びに来たんじゃないよ？ 一応、キミらに忠告しに 来てあげたんだから。
イオン	忠告……？

テルミ	ライブ見たときから思ってたけど、キミたち、ワキが甘すぎ。見せかたも、スタイルもさ。
テルミ	ヴァルナカウンターの怖さをキミらは、わかってない。
	//選択肢 A そうなのかな B テルミは知ってるの？
選択肢A	そうなのかな
テルミ	ぼんやりしてるなあ。やっぱ実感してなさそーだね。
選択肢B	テルミは知ってるの？
テルミ	もちろん。キミらがドンカンなだけだよ。
合流	
キョータロー	んなわけねーだろ。レイヤード社会に生きてて、怖くねーヤツなんかいねえよ。
キョータロー	アカウントも、ACTも。ヴァルナカウンターのデリートには逆らえないからな。
テルミ	頭ではわかってるみたいだね。でも、実際のデリートは見たことある？
キョータロー	それは……気づいたときにはデリートされてるのがほとんどだからな。
テルミ	見てないだけで、毎日誰かがデリートされてる。そこでキミらは表現をやってる。
テルミ	他人より目立つってことは、UNPLが溜まりやすいってこと。キミらは、体でわかってない。
キョータロー	そこまで深刻に言うことでもなくね？中二かよ。
テルミ	……ヒーローとか好きなヤツって、頭が小二以下だからね。認識甘くても仕方ないか。
キョータロー	なんだとコラァ！人の趣味にケチつけるんじゃねえ！
テルミ	ケチつけたのはそっちでしょ。いちいち熱くならないでよ。
イオン	キョータロー！ テルミ！ ストップです！
キョータロー	ああ、悪いなイオン。空気悪くしちゃったか。
イオン	いえ、トラブルシューティングの依頼が届いたもので。ご近所トラブルの解決案件です。
キョータロー	ご近所トラブル？ またアーダル患者かよ？
イオン	口に出せないアレなステージを開いているのだそうです。放置してはおけません。
イオン	手法はともかく、強引な表現は取り締まらなければ。さあ、ユーザーさん！
キョータロー	あーあ、飛び出しやがってあのエラーヒロインが。追うぞ【ユーザー名】！

テルミ	……人の話聞きなさいよ、 キミら。
-----	----------------------

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷・街中
女性ACT使い	見て……アタシのACTを！ アタシの、想いの全てを、 あますことなくッ！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	<p>■渋谷一街頭■</p>
キョータロー	よーし、勝ったか。 んじゃとりあえず、 落ち着かせて……
テルミ	……無理。
イオン	テルミ……？
テルミ	カウンター見なよ。 UNPLが100%振り切ってる。 その人は――。
テルミ	――その人のコンテンツは、 もう救えない。
女性Act使い	ふ、ふふ…… 私のACTの中を…… 私の心の奥を見て……
女性Act使い	……ひっ！？
女性Act使い	あ、あれ……？ 私のACTは……？
女性Act	レイヤードが見えない…… あれ？ あれあれあれ？
キョータロー	うう……い、今のは……。
イオン	……一瞬ですが、見えました。 彼女のACTを狩る者の姿が。
イオン	あれが、ヴァルナカウンターが 下した裁きの執行者――。
イオン	――『エンフォーサー』ですか。
テルミ	そう。レイヤードを使う限り、 ヴァルナカウンターと エンフォーサーからは逃れられない。
テルミ	そのヒトが愛したACTも、 そのヒトが表現してきたモノも。 ――このレイヤードからロストした。
イオン	……手遅れだった、 ということでしょうか？
キョータロー	今までのヤツらは、UNPLが 溜まりきってなかったからな…… でも、今のステージで……。
イオン	わたしとユーザーさんの戦いが、 彼女のデリートを、 決定的なものにした……と。

テルミ	結果だけ見たら、 の話だけだね。
イオン	……ふむ。 なるほどです。 理解しました。
イオン	そして認めましょう、 ユーザーさん。 英雄の道の、険しさを。
カツマ	……あれかな。 噂の英雄見習いくんは。
カツマ	一応報告しとかないとな。 これから、巻き込むこと なりそうだしね。

STAGE 04, "健やかな自滅プラン"2

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
キョータロー	お前、まさかこの結果が読めてて なにも言わなかったのか？
テルミ	確信はなかったけどね。 こうなってもおかしくない、 とは思ってたよ。
キョータロー	予想できてんなら止めろよ！ あの女だってなんとかできたかも しれねーだろ！？
イオン	それは難しいように思います、 キョータロー。
キョータロー	あん……？
イオン	アーダル症候群は、一度発症すれば その衝動を打ち砕かれない限り、 症状が治まらない、とされています。
イオン	ユーザーさんが止めなければ、 あのまま誰かを巻きこみながら、 消されていたことでしょう。
テルミ	そ。キミらの行動で、 犠牲者の数が抑えられた。 悪くない結果って思いなよ。
テルミ	多分キミらの名前も、 売れたんじゃない？ さっきの、英雄っぽく見えたしねー。
イオン	……………。
テルミ	だとしても、キミらの目立ちかたは かなり危なく見える。 もう少し気をつけなよ。
キョータロー	結構素直に、 【ユーザー名】のこと 心配してるのな。
テルミ	あたしに勝ったヤツが、 つまらない理由でデリートされたら それこそ、つまらないからね。
イオン	感謝します、テルミ。 女子力の高い気づかいですね。
テルミ	性別関係ないけどね。 ただの気紛れだし。
イオン	いいえ、助かります。 ユーザーさんを心配してくださる かたは、多いほど安心です。
イオン	……それでも。ユーザーさんは わたしの手を引いてしまったのです。 罪を引き受ける覚悟は必要です。
テルミ	……は？

イオン	わたしを引くということは、 そういうことなんです、テルミ。
テルミ	……ねえ。 どういう意味？
キョータロー	俺に聞くな。なにがなんでも、 【ユーザー名】を 英雄にしたいんだってよ、そいつは。
テルミ	……あっそ。 ACTにそこまで目的意識が あるのって珍しいね。
テルミ	ま、どうしたいかは勝手だけど。 世間の動きには、 注意したほうがいいよ？
テルミ	最近、アーダル患者も増えてるし、 UNPL誤魔化してるヤツらの たまり場もあるって聞くしね。
キョータロー	注意しろって言われても、 どう注意すりゃいいんだかな。 死にものぐるいで強くなれるのか？
テルミ	そだね。 身近な相手と戦う分には、 余計なトラブルは防げるんじゃない？
イオン	んむ？ それは、つまり？
テルミ	あは。 あたしの相手をしてれば 楽だよってこと。
テルミ	さ、やろっか！

話者	台詞 / ト書き
	//テルミ&エチカとバトル
テルミ	せっかく来たのに、 しめっぽいだけじゃイヤだからね。 軽くエチカに歌わせてよ。
エチカ	歌わせてよー！
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
テルミ	うー……またか。 今回はいけるかと思ったのにな。
キョータロー	お前さ。 かっこつけすぎじゃね？
テルミ	……………。
キョータロー	なんかさ、見映え重視すぎて、 見心地悪いんだよな。 お前こそワキが甘いんじゃないか？
テルミ	……っさいな。 そっちだって派手なだけでしょ。
イオン	ふふ。 おふたりは顔を合わせる度に、 口論になるのですね。
キョータロー	なにがおかしいんだよ、イオン。
イオン	おかしいのではなく、幸福です。 ぶつかり合う他人を 見ることも、学びです。
イオン	賑やかで喜ばしいですよ、 ユーザーさん。 ずっと聞いていられます。
テルミ	ステージの外で喜ばせに 来たわけじゃないんだけど。
イオン	そうなのですか。 わたしはテルミのような女子が 来てくれると、幸せですよ。
テルミ	他人のACTを友達にする つもりもないよ。
キョータロー	友達少なそーなのに どこまでもカッコつけるね……………。
テルミ	キミに言われたくないってば！
	//着信音
イオン	んむ？ 新しい依頼のようです、 ユーザーさん。
イオン	ふむ、依頼人の名前は フルサワというかた。 依頼内容は――。
イオン	『ヴァルナカウンターに 消されてしまう。 その前に戦ってくれ』。

キョータロー・テルミ	はあ？
------------	-----

STAGE 04, "健やかな自滅プラン" 3

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ース페인坂ー
イオン	ふむ、こちらを右ですね。 どうぞユーザーさん、手を。 はぐれないでくださいね。
テルミ	ったく、忠告したそばから、 怪しい依頼に飛びつくんだから……。
キョータロー	文句つけながら 付き合うのな、お前。
???	そこのヒロインちゃん。 ちょっといいかな。
イオン	む？ わたしをヒロインと知る あなたはいったい？
???	フルサワのところに行くんだろ？ あいつの依頼を受けるためにさ。
イオン	おお、なぜそれを？ お友達のかたですか？
カツマ	うん。僕はカツマ。 友人としてのお願いなんだけど… 彼を放っておいてくれないかな？
イオン	それはできません。 お断りするとしても、 事情はきちんとお聞きます。
カツマ	んー。 君らのためにも言ってるんだけど、 それでもダメ？
キョータロー	あのな、優男。 こっちは事情だけでも聞く、 って言ってるんだよ。
テルミ	それとも、キミが事情を 教えてくれるってこと？
カツマ	可愛い若者がよってたかって 睨まないでくれよ。 ドキドキしちゃうだろ。
キョータロー	は？
イオン	トキメかせてすみません。 わたしとユーザーさんは、 状況を把握したいだけですので。
カツマ	……君らは、『アーダル症候群の 発症率を、計算できるサイト』 の話、聞いたことある？
テルミ	あー。あんなの、 ただの都市伝説サイトでしょ？
テルミ	ライフログを含んだ来歴を 解析すれば、今後数カ月以内の 発症確率がわかる、ってヤツ。

キョータロー	昔からよくある、 ネット診断じゃねーか。 根拠なんてないんだろ？
カツマ	そうだね。 だが、根拠なんてなくても、 人はずがる。
カツマ	みんな、自分が現実の一部じゃ なくなるってことが…… 消されるのが、怖いんだよ。
イオン	ふむ。 怖がりすぎるのもよくない、と わたしは考えますが。
カツマ	その通りだね。 でも、僕の友人は 妄想に憑かれてしまった。
カツマ	あいつは、自分を変えることを あきらめて……
テルミ	……過去だけを消そうと願った。 どういこと……？
カツマ	さっき話したように、 アーダルの発症率はその人間の ライフログ次第、と噂されてる。
カツマ	過去のない人間は、 発症率そのものがゼロになる。 だったらログを消せばいい。
キョータロー	そんなの不可能だろ。 運営でもないのに、 どうライフログを消すんだ？
カツマ	抜け道があるのさ。 ACTを使えばいい。
イオン	ACTを……？
カツマ	ACTの基本機能は、ライフログ管理。 設定次第では、あらゆる個人情報を ACTに預けることもできる。
カツマ	もし、そのACTが この社会から消滅すれば…… ライフログごと、過去も消える。
テルミ	ACTの完全削除なんて、 個人の意思じゃ—— もしかして？
カツマ	……そう。運営の権威、 ヴァルナカウンターに それをやらせる気なんだ。
カツマ	コンテンツデリートには段階がある。 ACTのUNPLが溜まれば、 まずは、ACTがデリートされる。
カツマ	しかし、その段階で留まれたら。 まっさらなアカウントは、 デリートを免れることができる。
キョータロー	ACTに自分の罪を着せて、 トカゲのしっぽ切りに使うのか！？
カツマ	その茶番に付き合っている 話なんだよ、これは。 効率優先のただの生け贄だ。
テルミ	UNPLを溜めるためなら、 なんでもするステージ……だもんね。 フツウなら相手しないよね。
選択肢A	//選択肢 A それでも会わないと B だったら僕らが会おう それでも会わないと
イオン	そうですね、ユーザーさん。 それでも、会わなければ。
選択肢B	だったら僕らが会おう

イオン	はい、ユーザーさん。 フツーなら無理でも、 ユーザーさんは英雄です。
合流	
キョータロー	はじまったな。 フツーじゃねー英雄 & ヒロイン思考。
カツマ	……そうか。 そう答えられる気はしてたよ。
カツマ	だが、せめて。君たちの実力を、 彼の友人である僕に見せてほしい。
カツマ	僕の可愛いパートナー、 ジェイコブ。 ——舞うよ！
ジェイコブ	了解だよ、カツマ！ 彼らを足止めしなきゃね！

話者	台詞 / ト書き
	//カツマ&ジェイコブとバトル
イオン	む……幻想的なACTです。 それがカツマの愛する キャラクターなのですね？
カツマ	偉大なるドラゴンの化身。 竜人ジェイコブ。
カツマ	僕の大好きなファンタジー小説に 登場する、欠かせないバディだよ。
イオン	おお…… 街中でドラゴンと戦うヒロイン！ とても絵になりますね、ユーザーさん！

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ース페인坂一
カツマ	……やるなあ。 素養は文句なしだね。
カツマ	君にだったら、 フルサワのことを任せてみても いいかもしれないな……。
イオン	では、信用して いただけましたか、 カツマ？
カツマ	今のところはね。 ただ、十分に注意してほしい。
カツマ	フルサワは、弱くはない。 ACT使いとしては、 かなりのスゴ腕だよ。
カツマ	じょうずに戦わないと、 共倒れになる可能性が高い。
キョータロー	じょーずって言ってもなー。 なんか対策でもあるってのか？
カツマ	僕なりの保険はかけておくよ。 頼れるサポートもいるから。
イオン	サポート？ カツマの、別のお友達ですか？
カツマ	そこは企業秘密ってとこで。 ……それじゃ。 また後で合流しよう。
テルミ	ねえ…… 本当に受けていいの、 こんな依頼？
イオン	はい、テルミ。 わたしとユーザーさん以外に 受けさせるにはいきません。
テルミ	……そ。 それで、ご主人様のキミも イオンを止めないわけね。
テルミ	無償の英雄、か。 理解できないな、あたしは。

STAGE 04, "健やかな自滅プラン" 4

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ムスペイン坂ー
イオン	ここですね、ユーザーさん。 相手のかたの姿が 見えないようですが……。
テルミ	いや、いるよ。 そこそこ。
フルサワ	……やあ。 お前が英雄か。
イオン	お。 あなたが依頼人の フルサワですか？
フルサワ	そうだ。 さっそくまっすぐ戦おう。
フルサワ	戦って、ボクのACTの UNPLを上げてくれ。 すぐにだ。もう待てない。
キョータロー	あ、焦るなって。 まずは話し合いから……。
フルサワ	話し合い？ ボクは依頼をした。 お前らはボクと戦う。 それだけの話だろ？
イオン	依頼は受けましたが、 進めかたはよく考えてから……
フルサワ	なんでだよ？ ステップ踏んだって ラストは同じだろ？
フルサワ	今、すぐに戦わないと。 そうしないと、ヴァルナカウンターに アカウントごと消されちゃうんだよ。
フルサワ	アーダルになる前に、 ボクは生まれ変わる。 消される前に、自分をリセットする。
イオン	そのために、ACTを 捨て石にしてもいいと……？
フルサワ	ACT？ ボクのトートリスのこと？
フルサワ	ACTはただのAIで拡張現実だろ。 ボクが使いたいように使って、 なにが悪いんだ？
キョータロー	……こいつ。 ACTは自分のライフログで 決まるっつーのに……。
テルミ	思い入れゼロみたいだね。
イオン	一般的な倫理性からは、 かけ離れた考えかたを されていますね。

イオン	それでも。 わたしの中にある、ACT倫理規定は 彼の考えを否定できません。
イオン	彼のACTの使用方法に…… 『間違い』はひとつもありません。
テルミ	……………。
イオン	わたしたちは、単独の状態 幸福を求めるようには、 作られていません。
フルサワ	なんの話をしてる……？
イオン	人間と、作られた知性の話です。
イオン	人間はレイヤードにおいて絶対。 その行動は、全てが自己責任。 ACTは、人の責任に従います。
フルサワ	当たり前だろ、そんなの……？ ACTに人権なんかあったら、 社会は崩壊するぞ。
イオン	その通りですね。 その通りなので、ユーザーさん。
イオン	……今、彼を説得することは 不可能みたいです。
キョータロー	ステージを、開催しましょう。 だ、大丈夫なのか、イオン？
イオン	大丈夫ですよ、キョータロー。 ユーザーさんへのヘイトは、 きちんとわたしが引き受けます。
テルミ	……………！

話者	台詞 / ト書き
	//フルサワ&トートリスとバトル
フルサワ	トートリス、手を抜くなよ？ お前は、ボクを管理する ACTなんだからなッ！
トートリス	私のユーザー、 貴方の思うままに。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ースペイン坂ー
キョータロー	お、おお！？ やったな【ユーザー名】！ 大してUNPL溜まってないぞ！
テルミ	相手のACTも消えてないよ。 ……イオン、まさか？
フルサワ	お前ら…… 今のステージ、手を抜いてたな？
イオン	……………。
キョータロー	な、なんだ？ なんだってんだ？
テルミ	あの子、まだ説得あきらめてない。
テルミ	……ふん。 ヒロインっほいじやん。
イオン	フルサワ。 あなたはアーダルを発症していません。 計算サイトに、根拠はありません。
イオン	UNPLは、大人しくしていれば 下がるものです。 過去を消しても、意味はありません。
イオン	どうか、現実を見据えてください。 カツマも、わたしのユーザーさんも、 それを望みます。
フルサワ	カツマ？ あー、あいつと会ったんだ。
フルサワ	関係ないよな。 友達がアーダル治してくれる わけでもないし。
イオン	む……………。
フルサワ	そんなことより、 手を抜かれるってことは…… ボクの覚悟ができてなかったから？
フルサワ	だったら、やってやるよ。 やりやあいんだろ、死ぬ気で。
フルサワ	トートリス。 ボクがお前に、有終の美を 飾らせてやるよ。
フルサワ	人間に従うACTとして、 引退ショーを盛り上げてくれ。 そして、華やかに消えてくれよ！
トートリス	了解した。 それが、ユーザーの願いであれば。

イオン	……ダメ、でしたか。
イオン	ユーザーさん。 デリートは逃れられないようです。 こちら、覚悟を決めてください。

STAGE 04, "健やかな自滅プラン"5

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ース페인坂ー
フルサワ	もう少し…… トートリスがデリートされるまで、 あと少しのUNPLですむんだッ！
キョータロー	そこまでして、アカウントを クリーンに保ちたいのかよ……。
テルミ	珍しい考えじゃないけどね。 そいつは多分、極端なだけ。
イオン	テルミ……。
テルミ	自由を奪われるぐらいなら、 自分が好きなものだって壊せる。 みんなそうやって生きてるじゃん。
イオン	……ユーザーさん。 ユーザーさんは、ここで 逃げることもできます。
イオン	ユーザーさんのご意思を、 お聞かせいただけますか？
	//選択肢 A もちろん、やるよ B 正直、逃げたいけどね
選択肢A	もちろん、やるよ
イオン	……ふむ。 ユーザーさんならば、 そう言うと思っていました。
選択肢B	正直、逃げたいけどね
イオン	逃げたい気持ちはあっても 逃げはしない——。 そういうことですね。
合流	
フルサワ	なにを喋ってる……？ お前らまさか、 逃げられると思ってるのか？
フルサワ	これは依頼なんだぞ。 引き受けたからには、 トートリスと戦えよ！
イオン	逃げませんよ。 逃げない、とユーザーさんが 決めましたから。
イオン	ユーザーさん。 不安でしょうが、わたしは 最後まで隣にいますからね。
カツマ	みんな、お待たせッ！ まだデリートされてないよね？

イオン	おお、カツマ！ 来てくれたのですね！
カツマ	そんな嬉しそうに歓迎されると 照れるよ、ヒロインちゃん。
キョータロー	サポートってのが 間に合ったのか！？
カツマ	まーね。 知り合いの騎士を 近くに忍ばせてあるよ。
フルサワ	騎士…… アイツを連れてきたのか、 カツマ。
フルサワ	もうあんな場所に 隠れているのはイヤなんだ。 ボクの邪魔をしないでくれ！
カツマ	邪魔じゃないさ。 まだ友人だと思ってるから、 僕はここに来た。
カツマ	【ユーザー名】！ サポートはこっちでやる。 あとは任せるよ！

話者	台詞 / ト書き
	//フルサワ&トートリスとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■渋谷 ース페인坂ー
フルサワ	ふふ……こ、これでいい。 トートリスへのUNPLは 閾値を超えただろ？
フルサワ	……！ え、エンフォーサー！！
キョータロー	……あいつのACTが、 デリートされたか。
フルサワ	ふ、ふふ…… ボクのアカウントは、 なんとか持ってるよな？
フルサワ	これで、ボクのログも消えた！ ボクは、自由の身なんだ！ ありがとう、英雄！ あははは！
キョータロー	テメェ……！ 自分が生まれ変わるためなら、 なにやってもいいのか！？
フルサワ	ひっ……！？
テルミ	手を出すのはやめときなよ。 ここでキミが殴ったら、 台無しでしょ。
フルサワ	わ、わかってるじゃないか。 そう、これはショーだ。 娯楽で損なんかしたくないよね？
テルミ	うっさい。 用が済んだならさっさと消えて。
フルサワ	ふ、ふふ。 またなにかあったら、 依頼させてもらうよ……。
キョータロー	お前、あんなACTの扱い 見せられて、 ムカつかないのかよ？
テルミ	別に。 ACTはそういうものなんだから しょーがないでしょ。
テルミ	依存するキャラが消えて、 ゲンジツに帰れたアイツのほうが キミより幸せかもよ？
イオン	……テルミも、 そのほうが幸せですか？
テルミ	あたしは人間の歌って、 ノイズばっかでキライだから。 エチカやACTのほうがいいよ。
キョータロー	お前はお前で偏ってんなー……。
イオン	それもまた、愛です。 やっぱりテルミは、いいですね。

イオン	わたしもユーザーさんも、 テルミに出会えて幸せです。
テルミ	……真顔でキモいこと 言わないでよ。 たまたま知り合っただけでしょ。
イオン	いいえ。幸福な出会いは財産です。 そしてACTは、主を選べません。 主が選ぶ幸福に従うのみです。
イオン	もし、フルサワにも、 別の形の幸福を 提示できたら――。
カツマ	やあ。 なんとか、最小限の犠牲で すんだって感じかな？
イオン	カツマ。申しわけありません。 あなたの友人のACTを、 デリートさせてしまいました。
カツマ	仕方ないよ。 仕方ないし、 あいつの友人も辞めない。
キョータロー	アンタもお人好しシリーズか？
カツマ	好きになったモノから 目を離せないだけかなー。 どうも割り切るのが苦手です。
カツマ	おっと、もうこんな時間か。 じゃあ、そろそろ僕は行くよ。
イオン	はい、ありがとうございます。 お友達にもよろしくお伝えください。
カツマ	うん。 あっちは興味ないだろうけど、 伝えておくよ。
イオン	……ふむ。 終わりましたね、ユーザーさん。
イオン	わたしは、幸せを学びます。 このステージの記憶を、 誰かの幸福の糧にしましょう。
	■路地震
ユウト	そっちは片付いた？
カツマ	うん。なんとか。
ユウト	やっぱあいつは どうにもならなかったか。 しょうがなかったけど。
カツマ	そうだね、ユウト。
カツマ	ULA渋谷にも居場所がなかった、 あいつの対処を…… 僕らは、彼に任せちゃった。
カツマ	この借りはいずれ必ず返すよ、 【ユーザー名】。